

平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年5月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ハンズマン

コード番号 7636 URL <http://www.handzman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 小田 清謙

TEL 0986-38-0847

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第3四半期の業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	17,618	12.9	275	51.9	689	32.2	356	25.8
22年6月期第3四半期	15,606	4.3	181	546.9	521	42.0	283	39.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	69.50	—
22年6月期第3四半期	55.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	17,075	6,896	40.4	1,343.34
22年6月期	15,228	6,677	43.8	1,300.68

(参考) 自己資本 23年6月期第3四半期 6,896百万円 22年6月期 6,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
23年6月期	—	0.00	—	—	—
23年6月期 (予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,303	13.6	542	35.6	1,121	28.3	613	26.5	119.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期3Q 5,136,600株 22年6月期 5,136,600株

② 期末自己株式数 23年6月期3Q 2,991株 22年6月期 2,937株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期3Q 5,133,631株 22年6月期3Q 5,133,663株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、企業の収益改善傾向を受けて個人消費に一部持ち直しの動きが見られましたが、雇用情勢に改善は見られず、先行きへの不透明感から依然として弱含みのまま推移し本格的な回復には至っておりません。

このような環境の中、当社は前事業年度に引き続きお客様の要望される商品の導入・拡充を行うための店舗改装を推進し、これまでより一層お客様のお役に立てる品揃えを実現してまいりました。

その結果、既存店での来店客数は前年同期比105.0%となり、客単価も前年同期比101.8%と堅調に推移したことから既存店売上高は前年同期比106.9%の166億8千万円となりました。

平成22年10月にオープンした当社10号店目「くさみ店」(福岡県北九州市小倉南区)も豊富な品揃えがお客様の支持を得て堅調に推移し、くさみ店を加えた全店は、来店客数が前年同期比111.0%、客単価が前年同期比101.7%となり、全店売上高は前年同期比112.9%の176億1千8百万円となりました。

利益は、新規店舗(くさみ店)のオープン準備に伴う費用が約1億7千万円発生しましたが、売上総利益額の増加がこれを吸収し、営業利益が2億7千5百万円(前年同期比151.9%)、経常利益が6億8千9百万円(前年同期比132.2%)となっております。なお、第1四半期会計期間から資産除去債務に関する会計基準を適用しており、特別損失にその影響額として6千2百万円を計上しておりますが四半期純利益は前年同期比125.8%の3億5千6百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヶ月未満の店舗を新店と定義しており、当第3四半期累計期間においてはくさみ店を除く9店舗が既存店となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部 門 別	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額	前 年 同期比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
D I Y用品 ホビー・木製品、建材、手工具、 電動工具、金物、塗料、接着剤、 園芸資材、薬剤肥料・用土、植 物、エクステリア用品、石材	7,876	50.5%	8,805	50.0%	929	111.8%
家庭用品 家庭用品、日用品、インテリア用 品、電気資材用品、収納用品、住 宅設備用品	5,245	33.6%	6,112	34.7%	867	116.5%
カー・レジャー用品 カー用品、アウトドア用品、ペッ ト、生体、文具	2,485	15.9%	2,700	15.3%	214	108.6%
合 計	15,606	100.0%	17,618	100.0%	2,011	112.9%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債および純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ18億4千7百万円増加の170億7千5百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加と既存店の商品拡充・新店（くさみ店）の開店に伴う棚卸資産の増加により流動資産が9億8千4百万円増加したこと、さらにはくさみ店の店舗建物取得により有形固定資産が8億2千6百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ16億2千8百万円増加の101億7千9百万円となりました。これは主にくさみ店開店時の商品仕入代金および店舗建物取得費用等を短期借入金にて調達したことなどにより流動負債が20億2千2百万円の増加となり、一方長期借入金の返済が進み固定負債が3億9千4百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ2億1千8百万円増加の68億9千6百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ3億9千5百万円増加の7億5千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億3千3百万円（前年同期比61.1%）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が6億2千6百万円、減価償却費が4億2千7百万円、仕入債務増加額が3億9千万円となったのに対し、棚卸資産の増加額が5億1千6百万円、法人税等の支払額が4億5千6百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10億6千8百万円（前年同期比173.8%）となりました。これは主にくさみ店の店舗建物取得により有形固定資産の取得による支出が11億1百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、11億3千万円（前年同期比262.1%）となりました。これは主に、くさみ店開店時の商品仕入代金および店舗建物取得費用を短期借入金（純増額で19億円）で調達した一方、長期借入金の返済額が6億3千万円、配当金の支払額が1億3千8百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月9日発表の平成23年6月期業績予想に修正はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ7,326千円減少しており、税引前四半期純利益は70,037千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は211,736千円です。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	761,637	366,330
売掛金	258,646	186,513
たな卸資産	5,816,635	5,300,358
その他	233,929	233,051
流動資産合計	7,070,849	6,086,253
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,341,624	4,761,991
土地	1,804,659	1,786,593
その他(純額)	991,469	762,214
有形固定資産合計	8,137,752	7,310,799
無形固定資産	197,870	185,772
投資その他の資産		
敷金及び保証金	463,898	466,296
投資不動産(純額)	847,536	858,123
その他	373,781	337,315
貸倒引当金	△15,917	△15,917
投資その他の資産合計	1,669,299	1,645,817
固定資産合計	10,004,922	9,142,389
資産合計	17,075,771	15,228,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,650,500	1,259,800
短期借入金	4,819,600	2,942,600
未払法人税等	89,416	292,351
その他	453,029	495,259
流動負債合計	7,012,545	4,990,011
固定負債		
長期借入金	2,859,100	3,466,800
資産除去債務	214,912	—
その他	93,024	94,575
固定負債合計	3,167,037	3,561,375
負債合計	10,179,582	8,551,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,500	1,057,500
資本剰余金	1,086,500	1,086,500
利益剰余金	4,752,719	4,534,539
自己株式	△4,671	△4,629
株主資本合計	6,892,048	6,673,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,140	3,346
評価・換算差額等合計	4,140	3,346
純資産合計	6,896,189	6,677,256
負債純資産合計	17,075,771	15,228,643

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
売上高	15,606,879	17,618,013
売上原価	11,203,774	12,589,047
売上総利益	4,403,105	5,028,965
販売費及び一般管理費	4,221,729	4,753,413
営業利益	181,376	275,551
営業外収益		
受取利息	261	210
受取配当金	592	836
早期決済奨励金	291,737	333,635
受取手数料	124,308	111,024
投資不動産賃貸料	42,367	75,511
その他	10,619	3,493
営業外収益合計	469,887	524,711
営業外費用		
支払利息	81,929	72,203
投資不動産賃貸費用	33,327	28,739
その他	14,664	9,946
営業外費用合計	129,921	110,889
経常利益	521,342	689,373
特別損失		
固定資産除却損	6,119	492
固定資産売却損	15,541	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	62,711
特別損失合計	21,661	63,204
税引前四半期純利益	499,681	626,169
法人税、住民税及び事業税	172,407	258,609
法人税等調整額	43,579	10,770
法人税等合計	215,986	269,380
四半期純利益	283,695	356,788

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	499,681	626,169
減価償却費	398,950	427,410
受取利息及び受取配当金	△854	△1,046
支払利息	81,929	72,203
早期決済奨励金	△291,737	△333,635
投資不動産賃貸料	△42,367	△75,511
投資不動産賃貸費用	33,327	28,739
固定資産除却損	6,119	492
固定資産売却損益(△は益)	15,541	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	62,711
売上債権の増減額(△は増加)	△23,706	△72,132
たな卸資産の増減額(△は増加)	△394,693	△516,277
仕入債務の増減額(△は減少)	405,153	390,699
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,653	△9,932
その他	△31,622	△62,252
小計	638,067	537,637
利息及び配当金の受取額	854	1,046
利息の支払額	△82,393	△72,120
早期決済奨励金の受取額	282,028	323,768
法人税等の支払額	△291,735	△456,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	546,820	333,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△411,973	△1,101,814
投資不動産の取得による支出	△325,837	—
投資不動産の賃貸による収入	48,351	77,652
投資不動産の賃貸に伴う支出	△21,514	△16,256
敷金及び保証金の回収による収入	31,325	2,398
その他	64,894	△30,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△614,754	△1,068,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	1,900,000
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△440,000	△630,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△629	△637
自己株式の取得による支出	—	△41
配当金の支払額	△128,235	△138,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	431,134	1,130,135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	363,200	395,306
現金及び現金同等物の期首残高	480,825	360,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	844,026	755,537

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

街頭事項はありません。